

町の家計簿を報告します

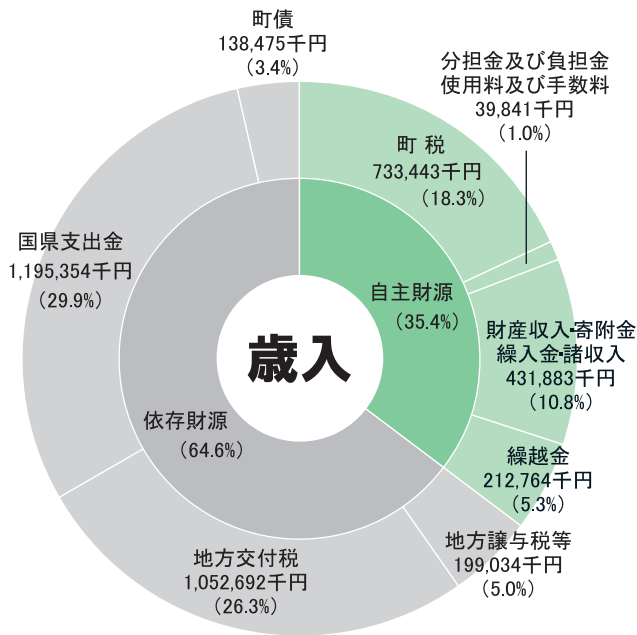
令和2年度の神崎町一般会計と特別会計、企業会計の決算が9月定例議会で認定されました。皆さんが納めた税金や、国・県からのお金がどれだけ町に入り、どのように使われたかを知っていただくために、ここでお知らせします。

一般会計の決算は、前年度と比較すると、歳入・歳出共に増加となり、決算収支についても黒字決算となりました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策事業や、役場庁舎及び神崎ふれあいプラザの非常用発電設備の設置工事をはじめ、町道亀下佐谷戸線法面修繕工事や町道神宿松崎線及び毛成堀籠線の測量設計業務など、投資的事業を中心に実施しました。

今後も、「発酵の里・健康笑顔のまち こうざき」の実現に向けた町づくりを進めていくために、より安定した財政基盤の確立を目指して、さらに効率的な行財政運営に努めていきます。

▶ 一般会計歳入 40億348万6千円



歳入の18.3%を占める町税収入は、前年度に比べ242万3千円(0.3%)の増となりました。

地方交付税(国から町へ交付されるお金)は10億5,269万2千円で、前年度に比べ9,386万5千円(9.8%)の増となりました。地方交付税と町税で歳入全体の44.6%を占めています。

国県支出金(国や県からの補助金など)は、特別定額給付金や地方創生臨時交付金の交付などにより、前年度に比べ8億3,009万8千円(227.3%)の大幅な増となりました。

町債については、役場庁舎及び神崎ふれあいプラザの非常用電源整備に係る起債により、5,947万5千円(75.3%)の増となりました。

令和2年度に実施した主な事業

- 特別定額給付金給付事業 5億9,762万円
- 地域経済活性化券交付事業(3年度へ一部繰越し) 8,053万円
- 町道亀下佐谷戸線法面修繕事業 3,854万円
- 神崎ふれあいプラザ非常用電源整備事業 3,473万円
- 役場庁舎非常用電源整備事業 2,609万円



町税の内訳

